

## 第25回ISOE運営委員会議事概要

1. 日時：平成27年11月18日（水）9:00～17:30

平成27年11月19日（木）9:00～12:00

2. 参加者：33名（各テクニカルセンター、カナダ、フランス、ドイツ、ブラジル、スイス、ベルギー等のNC・電力会社・規制機関）

### 3. 内容

- CRPPHの活動として、若い世代の放射線防護専門家を対象としたネット上での「ウェビナー」の紹介があった。
- IAEAによる放射線防護に関する発表と、NEAによる福島事故における労働者の被ばく状況に関する発表があった。
- ベルギー、ブラジル、カナダ、フランス、ドイツ、日本、韓国、オランダ、スロベニア、スウェーデン、スイス、米国のNCより、国別の報告（Country Reportの紹介）があった。
- WGDECOM（デコミッションングのワーキンググループ）の議長より、活動報告および今後の活動計画についての発表が行われた。
- ドイツのEWNとの技術協力について、承認された（EWNは一企業であるが、廃止措置に関する責任を負う政府直轄の組織であるため、認められることとなった。よって、同社との協力が認められてからといって、今後他の一般企業との技術協力を広めていくという意味にはならない）。
- 各TCからISOEプログラムに関する年間活動の評価が行われた。ATCは、9月のアジアALARAシンポジウムが成功裏に開催されたこと等から、緑色の評価で報告した。
- 2015年度の決算及び2016年度の予算の報告が行われ、承認された。
- 今後の会合及びシンポジウムの日程が紹介された。2016年秋の会合については、米国のThanksgivingを考慮して、当初の予定より1日短くすることとした（11月28日を削除）。

以上